

ジュニア賞

環境ビジネス

松本 夏音 (高校2年生：東京都)

経済活動のグローバル化により、森林破壊、大気汚染、マイクロプラスチックや海洋汚染、地球温暖化など環境問題が人々の生活や健康を脅かす問題としてより注目されています。一方で自国優先主義やポピュリズム政治家の台頭から、経済活動を優先し環境問題を軽視するような風潮も勢いを増しています。

私は、環境問題は純粋に地球環境を改善したいという視点だけでは解決は難しく、経済的なメリットも必要と思っています。

最近の事例では、欧州ではクリーンエネルギー化の進行による脱炭素化、自動車でも電気自動車の開発が進んでいますが、日本はクリーンエネルギーへの移行は進んでおらず、ガソリン車やハイブリッド車の成功から電気自動車化への移行の難しさも指摘されています。欧州はクリーンエネルギー化による経済的なアドバンテージも狙っていると思います。

私は環境問題に対する人々の意識を高めるため、リサイクルした紙やプラスチックで環境問題に関するクイズ式のボードゲームを作りたいと考えましたが、同時に環境問題と経済活動をどのように融合していくか考えるゲームを作りたいと思いました。

このゲームは、リサイクルが可能な紙やプラスチックでゲームのボードとクイズカードが作られています。クイズは全て環境問題に関連するものですが、あなたは資本金1億円の会社の社長という立場で環境問題に答えていきます。ただし環境問題に対して単純にすべて肯定していくだけでは、あなたの会社の資本金は減少していき倒産してしまいます。かといって目先の利益優先で環境問題に無関心であれば、環境問題を重視する会社や消費者からの取引が次第に縮小し、また政府から環境悪化に対する責任を問われ結果として会社のコストが膨らみやがて赤字企業になり、やはり倒産してしまいます。あなたは社長としてバランス感覚をもって環境問題に取り組み、また環境問題をビジネスにつなげていく戦略が求められます。